

## 仲井真小学校区まちづくり協議会（通称：仲まち協） （設立趣意書）

「少年に夢を、青年に希望を、お年寄りに誇りを・・・そんな街に住みたい！」をスローガンとした仲井真小学校区まちづくり活動は平成8年、那覇市の第3次総合計画策定の基礎となった『地区ビジョン』をきっかけに有志8人で1996年にスタートした。

地域の課題を探し、その解決のために①仲井真中学校区に市立公民館・図書館をつくる会 ②国場川こいのぼりまつり実行委員会 ③国場川に清流を取り戻す会として約20年間途切れることなく活動を続けてきた。この間の活動は多くの共感者（団体、個人、企業）を得て参加団体35、個人約30名に拡大し、支援企業も毎年50～80ヵ所、後援団体として那覇市、那覇市教育委員会からの後押しも得て大きな成果を残すことができた。

しかし今、私たちを取り巻く社会情勢が予想外に大きく変化し、継続した20年間の活動の内容、組織のあり方を renovation する必要に迫られてきている。

まず、テレビ等の阪神、東北、そしてこの度の九州地方の一連の災害報道を見ながら、大きな災害が忘れた頃の天災ではないという危機感から、誰もが自らの生命を守るためにコミュニティの必要性を痛感し、あり方を考えなければならない背景があります。

また、従来では考えられない子どもを含む社会的弱者に対する放任、DV等の虐待、世代を問わず「不登校・ひきこもり」等の『孤立・孤独』も私たちの暮らしに大きな陰を投げかけています。

「仲まち協」では、こうした社会現象を踏まえ、既存団体である自治会、民生委員、児童委員、PTA、学校、地域企業、那覇市協働大使等の活動を点と点で結ぶ、細分化されたコミュニティのネットワーク化を図ることで地域社会に貢献したいと考えている。

次に、古くからこの地域に存在した「むらや〜」精神に学び、地域の子どもは地域が育て、地域活動を担い、新たな世界に踏み出す若者の輩出に「仲まち協」は貢献したいと考えている。

「少年に夢を、青年に希望を、お年寄りに誇りを・・・そんな街に住みたい！」の基本理念を踏襲し、仲井真小学校区を中心とした新たなまちづくり（コミュニティづくり）を私たちの責務とし仲井真小学校区まちづくり協議会を発足する。

平成28年5月12日

